

F27-050(F50)の思い出 その1 二者択一

荒岡 衛

「英雄たちの選択」というテレビ番組がある。歴史上の人物が決断を迫られた時の状況を説明し、その時あなたならどうする?という判断を問う設定だ。それほどの重大事ではないが、趣味で飛行機搭乗を続けていると二者択一の判断を迫られたことが何回かあった。

日本航空系列の J エアは 2009 年 2 月 1 日から新たにエンブラエル社製小型ジェット ERJ170 を就航させた。初便は名古屋小牧 7:10 発の松山行 JL4391 便である。一方全日空系列のエアーセントラルはそれまで使用していたフォッカー社製 F27-050 (F50) を退役させることになり、最終便は 1 月 31 日仙台 13:15 発中部国際行 NH1802 便になった。1 月 31 日は土曜、当時長崎単身赴任中だったので 31 日に長崎-大阪-仙台と飛び、F50 の最終便に乗り名古屋で 1 泊、翌日 ERJ の初便で松山、さらに東京に戻り次の 1 週間は横浜で作業という予定を組んだ。

当日長崎、大阪の天気は曇で最初のフライトは順調だった。次の仙台行は「仙台地方が雪のため羽田にダイバートする可能性あり」という条件付き就航だったが無事定刻に着陸した。そしてしばらくすると名古屋からの F50 も仙台空港に到着した。

ところがその頃から雪が強くなってきた。それでも搭乗が開始され、バスで駐機場まで移動、着席し酸素マスクなどの説明も終了したけれど、翼面の除雪作業のためなかなか出発できない。そのうち一旦降機となり出発ロビーに戻り天候回復を待つことになった。待たされること 4 時間余、18 時過ぎになって当日は欠航、運航は翌日と発表された。

さてここで初便を諦め翌日の最終便に乗るか、新幹線乗継で名古屋へ行き初便に乗るかという二者択一を迫られた。両便に乗ろうとしていたマニアは大勢いた。F50 はこれが最後だからと前者を選択した人も少なくなかった。私はその機体は既に搭乗していたので変更の手間と経済性を考慮し、同じ判断をした仲間と名古屋へ向かった。

注) ダイバート:予定外の地点に着陸すること

